

正木昭藏 まさき てるくさ 政治家。文久二年七月二十五日淡路國二原郡神代村生れ。大正十二年五月十七日歿（八六二—一九四）。號因果庵、因果庵主人、正木光、照、野梅、雀山、雀山人、鶴山。初の沼田存菴、玉井竹堂に漢籍を學び、明治九年大阪共詩學校に入る。中途病を獲て歸郷し、姑く時習校の校長を務めた。二十年神戸商業會議所編輯員、翌年兵庫縣會議員に擧げらる。二十一年下京、矢野龍溪の推挽により報知新聞社入社、編輯に従事。二十四年日本郵船會社に轉じて在職。二十五年、大正五年衆議院議員となる。平生漢詩、和歌を能くし、書畫、工埴能、また文筆に長じた。

英書に通じ、ジヨン、ラボツク著『人の一生』(再版・明治二十五年十一月)二十五日明治堂・明法堂)、マクス、オーレル著『ジヨン、パーク』(ジヨン、ラボツク)著『平和と幸福』(大正二年一月五日實業文白本社)等々翻譯、著書に『泰西文藝史論』(明治二十六年四月十五日明治堂・明法堂)、詩歌書畫の他矢野龍溪筆執筆の言行録と附載した。『鶴山遺詠』二冊(大正十四年九月十七日小寺謙吉編輯)がある。

